

特集 北陸

北陸三県の白ポストに関する様相は、追って詳述する通り、それぞれに異なる。

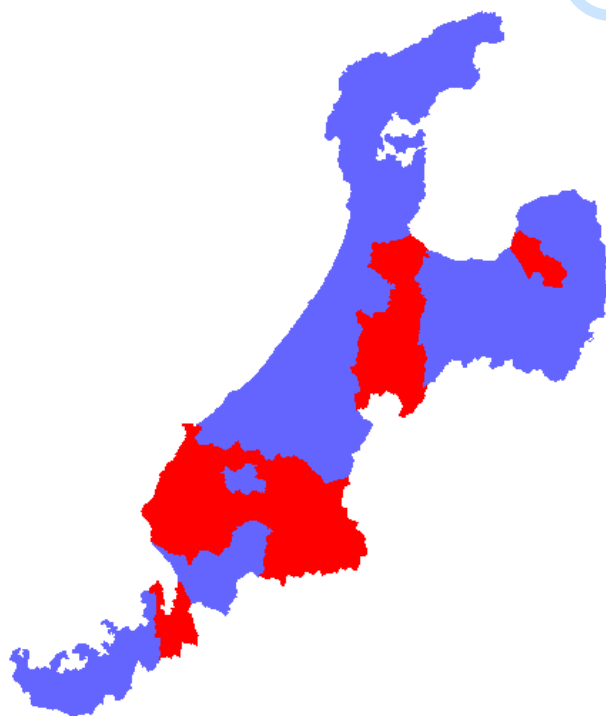
今回は、それらの一部を通じて、現状と実態を紹介することにしたい。

富山県は、一部の地域で白ポストが置かれ、目撃証言以上のものもないではない。しかし、地域と数は限られている。

福井県は、嶺南と嶺北で別れる。北陸トンネルや栃の木峠より北の嶺北では、すべてではないまでも多くの市町が白ポストを置いている。しかし、嶺南では敦賀市の情報があるのみであり、若狭湾沿岸の他の市町村に関しては、目撃情報すら見られない。

そして石川県については…後述することにしておく。

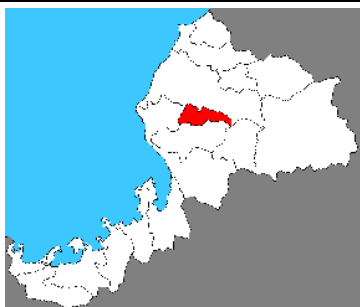
細かく状況を異にするこの一帯について、多少とも実態を解明できたかも知れない。



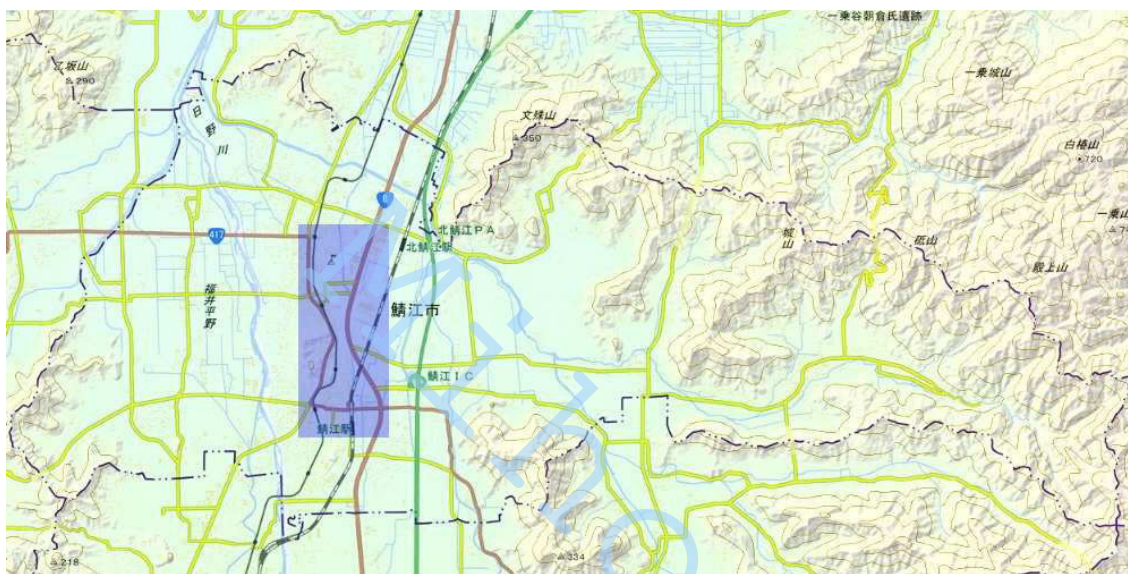
左図：

多少とも白ポストの存在を伺わせる情報がある市町村とそれ以外を色分けした北陸三県。

鯖江市には白ポストがある



鯖江市は、福井県全体の中央付近、あるいは嶺北の中南部に位置する内陸の町である。この鯖江市の白ポストに関する情報は、公開されている。市域は左図あるいは下図⁶の通り東西に広がるが、人口と交通路は中西部を南北に貫く地域に集中する。白ポストも、下図の網掛けの範囲に集まる。そんな鯖江市での調査結果を以下に示す。



鯖江駅



鯖江駅では、出入口と改札の間の自販機がある空間に白ポストが置かれている。そこは、駅を利用すれば必ず通過する建物内部の端である。その脇には各種ゴミ箱が並ぶ。そして、歩みを遮る柱があるので人が無闇に近くを通ることもない。

⁶ 国土地理院地図(<http://maps.gsi.go.jp/?11=35.958764,136.23064&z=13&base=std&ls=relief%2C0.2&vs=c0j010u0>)の一部を使用し加工した。

